



# 相手に生きる

学校教育目標 「相手に生きることによって自己を生かす」  
西中スタンダード 「あいさつ」「歌」「清掃」「花」「服装」「時間」

## 地域を学ぶ 地域に学ぶ 地域で生きる

総合的な学習の時間では、「地域とのつながり」を大切に、2学年では、地域の財産である「姨捨棚田」の米作りを題材に、棚田保存会の「名月会」の皆様をはじめ多くの皆様のお力をお借りしながら、働くことや生きることについて考えを深めてきました。今年度は、学校全体で地域の「ひと・もの・こと」に学ぼうと次のような取組を行っています。



5月13日(金) 地域巡り

### 1学年 地域を学ぶ

5月 新しく出会った仲間と共に、班ごとに自分たちの見たい、知りたい、行きたい、稲荷山、桑原、八幡の場所を訪ね、歴史や由来などを調べて、地域のよさや課題をまとめました。



5月26日(木) 棚田の田植え

### 2学年 地域に学ぶ

日本遺産の「姨捨棚田」を題材に、田植え、稲刈り、写生会などを行い、棚田を守る人々などから、地域に対する思いや働くことの意味について考えを深めています。



10月5日(水) 「ペットボトル」製作  
のお手伝い@八幡小

### 3学年 地域で生きる

それぞれのこれからの道を決める3学年。これまでの学習を振り返り、地域のために、後輩たちのために、社会のために自分たちができることは何かを考え、社会に生きる一員として自分のこれからの生き方に対する考えを深めています。

## ふるさと「月の都 千曲」発表会のご案内

今年度は、千曲市内の中学校を代表して、標記の発表会に参加して、上記のような取組を発表する機会を得ました。小学校の代表は治田小で、5年生の取組を発表します。是非多くの皆様にご覧いただければと思います。詳細は市報などをご覧ください。

- 1 日 時 11月19日(土) 13:30から16:30 (開場 13:00)
- 2 会 場 上山田文化会館
- 3 内 容 治田小5年生、更埴西中各学年有志の発表 講演会 など

## 新しい制服のデザインが決定

来年度の実質統合 60 周年にあわせ、新しい制服の導入について制服検討委員会を中心に検討を進めて参りました。委員会では、性的少数者の人権への配慮が求められる時代に合わせ、更埴西中が、多様性を認め合い、誰もが居心地のよい学校になることを願い、話し合いを進めてきました。

その結果、次のような制服に決定され、田毎祭で全校に披露されました。



更埴西中オリジナルの襟章とボタン。

紺色のブレザー。ボタンは、右前、左前の付け替えが可能なジエンダーレス。

グレーを基調としたスラックス。ゆったりタイプとぴったりタイプで性差にも対応。



ネクタイ・リボンは、田毎の月をイメージした黄色と紺色のストライプ柄。

自分の好きな方を選択できます。

スカート・スラックスも、自分の好きな方を選択できます。

冬の制服として希望者には、秋にはスラックスを追加販売の予定。

### <移行期間の制服の着用について>

令和5年度と6年度の2年間は、現制服と新制服の混在する期間となります。現1・2年生については、どちらも「制服」となりますので、現制服のブレザーに新制服のスラックスや新制服のブレザーに現制服のスラックスなどの組み合わせもよいこととします。

## あと半年で「先輩」と呼ばれる立場に



10月21日(金)に新入生説明会を行いました。体験授業のあと、1年生による中学校生活の説明会と部活動見学を行いました。

昨年は迎えられる立場だった1年生が、迎える立場として準備を進めてきました。

当日は、音楽会の学年合唱曲を発表したり、生徒会活動や部活動など中学校の様子を小学生の皆さんに上手に伝えたりすることができました。

小学生の代表からは「中学の様子がよくわかった。来年の入学が、ますます楽しみになった」という感想発表がありました。それぞれの進級・進学に向けて、残り半年、さらなる成長を期待しています。

(文責：教頭 柳澤)